

志木市議会議員 無所属

天田いづみの議会だより

市議会・まちづくり情報



〒353-0006 志木市館1-1-2-108

Tel/Fax:048-471-1338

E-mail: amada@ff.e-mansion.com

天田いづみのホームページ <http://www.ff.e-mansion.com/~amada/> 第53号 2016年3月

だれもが安心できるまちづくり

～成年後見制度のとりくみについて～

「うちは子どもがいないので、もし入院した時に誰が面倒を見てくれるのか、将来が不安になる」とのお話を伺いました。介護保険制度の中では相談・サポートを受ける仕組みがありますが、12月議会では成年後見制度について、志木市の取り組みを調べて取り上げました。

身寄りのない方に志木社協が法人後見……

志木市社会福祉協議会では2009年度から、身寄りのない方、みずから後見人をお願いすることができない方々のために、地域福祉を推進する社協の使命として、法人後見を県内に先がけて行ってきました。2015年9月までに高齢者12人、障がい者4人が利用されてきました。

成年後見には至らない方々の生活をサポートする福祉サービス利用援助事業「あんしんサポートねっと」と合わせて、社協の相談支援事業所(総合福祉センター内・475-2277)が担っています。

相談支援事業所では、子育てから高齢者まで、あらゆる不安や悩み、困りごとに寄り添い、ご自宅を訪問して相談にのるなどの支援も行っています。

市からの委託で障がい者の相談支援事業、障害福祉サービス利用計画(障がい者のケアプラン)の作成も行っています。

市民後見人の育成について……

法人後見については朝霞4市で志木社協しか行っていないため、知的障がい者の入所施設すわ緑風園の保護者からも要望があり、近隣市にも法人後見を行って頂くようお願いしているとのこと。

志木市でも利用者が増えていった場合は、法人後見だけでは対応しきれないため、市民後見人を育成し、今後増加するニーズに答えていって頂きたいと考えます。

志木市では2009年度から社協に委託し、市民後見人養成講座を行うとともに、2012年度から志木市成年後見支援センター(総合福祉センター内・486-5130)を開設、翌年には県内初の市民後見人が誕生しました。現在では2人の市民後見人が活躍されているということです。

村上健康福祉部長「成年後見制度については、高齢化の進展による認知症高齢者や障がい者等の増加により、権利擁護を目的としたニーズが一層高まっていくものと考えている。

今後は、市民後見人養成講座や専門研修を修了し、権利擁護人材バンクに登録する登録者数を25人から倍増させ、50人以上の登録者数を明確な目標として取り組み、一体的な生活支援体制として身近な支援者である市民後見人の育成とその人材の活用を強化し、地域の支え合いと受け皿づくりを加速していく。」

現在活躍されている2人も、権利擁護人材バン

クへの登録後、実務研修を経て、家庭裁判所からの選任により、社協のバックアップのもとで市民後見人として活動しています。

また、2013年7月議会で提言した成年後見利用支援事業については、制度の利用が必要であるにもかかわらず、経済的理由から利用が困難であった方を助成の対象として、2014年度から申し立て費用の助成対象と成年後見人等への報酬助成が拡充されたということです。

社協の相談支援事業所と志木市成年後見支援センターは同じ部屋で一体として運営されており、高齢者あんしん相談センターや健康増進センター、教育サポートセンター等様々な機関と連携し、市民の安心のために動いていると感じました。



2015年12月議会 一般質問より

■ 地域包括ケアシステムの構築について

今回の介護保険制度改革は、2000年に介護保険制度が始まって以来の大改革と考えます。

要支援1・2の在宅サービスのうち訪問介護（ホームヘルプサービス）、通所介護（デイサービス）は新しい介護予防・日常生活総合支援事業として、生活支援サービスとともに市が新たなサービス・料金体系をつくっていかねばなりません。

介護保険制度は地方分権の試金石であるといわれてきました。志木市の高齢者人口は、2015年～25年で前期高齢者は3%減ですが、75歳以上の後期高齢者は1.6倍となっていきます。

2016年度に向けて高齢者ふれあい課、高齢者あんしん相談センターの体制の充実を求めました。

(1)在宅医療・介護連携の推進

志木市でも訪問診療できる診療所があり、TMG宗岡中央病院については未だ在宅療養支援病院には至りませんが、体制を整えば在宅で看取りもできるようになっていくことを、市民に見えるようにしていくことが重要です。

村上健康福祉部長「今年度は医師や歯科医師、介護サービス事業者など、専門職間の顔の見える関係づくりを目標に、多職種連携研修会を開催した。今後は、各職種の代表者からなる多職種連携代表者会議を設置し、現状の課題や対応策などを具体的に検討していく。

また、11月には朝霞地区4市の在宅医療連携拠点として、朝霞地区医師会に地域包括ケア支援室が設置された。

今後の事業推進にあたっては、医師会、歯科医師会、薬剤師会のほか、看護協会も含め、各団体と本市の実情に合わせて取り組んでいく。」

4月に認知症疾患医療センターに指定された和光市の東部中央病院、市内の医療機関の医師にも、研修の講師として協力頂いているそうです。

(2)認知症施策の推進について

志木市では認知症高齢者徘徊模擬訓練を行っていますが、イベント型から日常型にしていき、多くの市民が認知症について理解し、支援する体制をつくっていくことが大切です。

村上健康福祉部長「認知症初期集中支援事業として、複数の専門職が認知症と疑われる方、認知症の方とその家族を訪問し、認知症専門医による診断等を踏まえ観察評価を行い、本人や家族への初期の支援を包括的、集中的に行い、自立生活をサポートする。モデル事業の成果を踏まえ、2016年度から本格実施していく。

また、今年度から地域の実情に応じて医療機関、介護サービス事業所や地域の支援機関をつなぐ役割を担う認知症地域支援推進員を高齢者ふれあい課と高齢者あんしん相談センターに配置し、地域で気軽に認知症の方と家族を支援する相談窓口が開設された。

高齢者あんしん相談センターでは、認知症カフェの開催や徘徊模擬訓練の実施に加え、12月から見守りSOSステッカーの配布事業を開始した。認知症で徘徊の恐れのある高齢者や家族への支援として、早期発見や事故防止に資するものである。

さらに、認知症への理解を深めるための普及啓

発として、認知症サポーター養成講座を市内全中学校で実施するとともに、2016年度は小学校でも実施を予定しており、認知症高齢者にやさしい地域づくり実現に向けた取り組みを進めていく。」



(3)地域ケア会議の推進

高齢者あんしん相談センターで主催する地域ケアエリア会議、市が主催する中央会議、専門部会と、以前よりは組織的に対応できるようになってきていると感じていますが、高齢者の問題は介護保険制度だけではありません。

虐待で、市が福祉事務所として措置しなければならないケース等、困難事例を共有しながら後手にならない対応が求められます。

村上健康福祉部長「国が推進している多職種共同による自立支援に資するケアマネジメントの支援についても、県の人材バンクを活用し、地域の最前線で活動するケアマネジャーも交えた実践を通じて、ケアマネジメントとサービス提供の最適な手法を蓄積、充実を図っている。

今後、これらの地域ケア会議を重ね、医療、介護等の多職種が共同して高齢者の個別課題の解決を図るとともに、地域に共通する課題の解決に必要な資源開発や地域づくりを進めることにより、志木市版地域包括ケアシステムの構築に努めていく。」

(4)生活支援サービスの充実・強化

高齢者のひとり暮らし世帯等が増加し、支援を必要とする軽度の高齢者が増加しています。地域の中で新たな生活支援サービスを掘り起こして、2017年3月までに体系化しなければなりません。

村上健康福祉部長「地域の支え合いや生活支援の担い手として、住民主体の取り組みを推進する生活支援体制整備を行うため、地域資源として想定可能な事業関係者からヒアリング等を行い、地域資源の開発に努めている。

今後は、ニーズにマッチした多様なサービスが提供できるよう協議体を設置し、生活支援体制整備のための人員、コーディネーター等の配置を行うこ

とにより、介護予防・生活支援サービスの充実と高齢者の社会参加をさらに促進していく。」



■ 放課後学習教室の今後の展開について

放課後学習教室については昨年度から宗岡小学校で、今年度から志木第四小学校で行なわれています。今後、すべての地域での開催に向けて、教育長に伺いました。

尾崎教育長「2016年度からは、志木地区と宗岡地区、それぞれ新たに1校ずつを加え、市内4つの小学校に於いて、学習のつまずきが多くみられる3、4年生を対象に実施する予定で準備を進めている。」

12月7日には、志木四小で3、4年生の放課後学習教室を視察させていただきました。3年生は図形が始まったばかりで、定規を使ってきちんと線を引くことやコンパスの使い方がうまくできない子もいます。先生方は一つ一つ手をとって丁寧に面倒を見て下さっていました。宿題のわからないところは、「先生ここがわからない」と気軽に聞くことができました。

講師の先生が3、4年生一緒に取り組めるように考えて下さったチャレンジ問題では、みんなで協力して夢中になって取り組み、「計算の順序の定着と共同学習の楽しさを味わう」目標が達成され、みんなが笑顔に！

学校とも学習塾とも違う、これは一つの温かいコミュニティだなあと感じ、深く感動しました。学校では校長先生が放課後昇降口に立って、放課後子ども教室に向かう一人ひとりに声をかけて送り出して下さっているそうです。

年間一校60万円弱の予算で、子どもたちが地域の中でよりよく育ち、ともに成長していける志木市独自のしゅきを、公約に掲げて下さった香川市長と関係者の皆さまに感謝しつつ、応援していきます。

※2016年度は志木小学校と宗岡第二小学校で新たに開催予定とのこととす。

● 天田いづみの活動日誌(主なもの)

- 2015年10月2日 認知症徘徊SOS模擬訓練(志木市、高齢者あんしん相談センターブロン)
- 4日 終戦70周年記念特別公演「帰ってきたおばあさん」(神田さち子語り芝居志木実行委員会)
- 5日 朝霞地区一部事務組合議会
- 6日 朝霞地区議長会議員研修会 室屋佳子・大原智子さん(表現力プロデュース)
- 10日 第8回図書館まつり、第14回大人のためのおはなし会(柳瀬川図書館)
- 11日 NPO法人シンフォニー、マルイファミリー志木に出店！関係者の皆さまに感謝
- 12日 第7回辻銀杏で街あわせ(ぺあも～る商店街にて)
- 14日 第16回屋内消火栓操法技術大会(朝霞地区一部事務組合 埼玉県南西部消防本部)
- 16日～17日 いろは遊学館ふれあいまつり、しきっこミュージックフェア
- 18日 健康まつり
志木第九の会第17回定期演奏会
- 24日 市政功労者表彰式典
- 25日 環境デー クリーン作戦 こもれびのこみち(NPO法人エコシティ志木)
ドンキホーテ男声合唱団第10回演奏会
認知症になった私が伝えたいこと 佐藤雅彦さん(認知症とよりよく生きる会)
- 28日～29日 市民福祉常任委員会行政視察…在宅医療・介護連携の推進、高齢者福祉施策について
- 31日 すわ緑風園ふれあいまつり(朝霞地区一部事務組合立 障害者支援施設すわ緑風園)
- 11月3日 志木市民文化祭、市展
- 7日 幸町しあわせフェスタ～防災でつながろう～(幸町地区まちづくり会議:志木四小にて)
- 8日 志木市事業判定会…地域ブランド推進事業、ふれあい号運行事業
「かみむね★こどもまつり」(上宗岡地区まちづくり会議:総合福祉センターにて)
- 14日 「志木市戦後70周年平和を願うつどい」紙芝居「シベリア捕虜舞鶴引き上げ」など
- 16日 朝霞地区4市消防団連合点検(埼玉県消防協会朝霞支部)
- 17日 志木市小・中学校一斉授業研究会 算数・数学の少人数指導(志木二小)
- 20日 「公共施設マネジメント」フォーラム第3回「公民連携手法としての指定管理者制度」南学さん
- 22日 宗岡真ん中せせらぎ祭り(中宗岡地区まちづくり会議:せせらぎの小径にて)
- 24日 朝霞地区一部事務組合議会
- 26日 議員説明会…将来ビジョン、人口ビジョン及びまち・ひと・しごと創生総合戦略素案について
認知症カフェ なごみ「地域で支え合う認知症」NPO法人暮らしネット・えん 小島美里さん(高齢者あんしん相談センター館・幸町、スペース・わ)
- 27日 志木市要援護高齢者支援ネットワーク会議「セルフ・ネグレクトの人への支援～地域のネットワークでどのように予防し支援へつなぐか～」東邦大学看護学部教授 岸恵美子さん
- 29日 東日本大震災復興支援「志木市民まつり～カップだよ！全員集合！！」
- 30日 高齢者あんしん相談センターせせらぎ 飯田所長より、地域包括ケアシステムの構築に向けた取り組みについて伺う



＊ ＊ 子どもたちへのこせるふるさと志木を！！ ＊ ＊

【子どもたちへのこせるまちづくり】

- 市庁舎など公共施設は、子どもたちに負担を先送りせずにサービスを充実
- 収入増など工夫して市民・事業者との協力を行政に提案
- だれもが外出しやすい交通システム
- 地域の実態に応じた防災体制

【みんなで支える教育】

- 幼・保・小・中でよいところを伸ばせる教育
- 特別に支援が必要な子どもたちへのサポートを充実
- 放課後子ども・学習教室をすべての地域に

【子どもから高齢者まで地域で楽しく】

- 働きたいママたちに保育環境の整備を
- 経済的・家庭的に困難な子どもたちに学習支援
- 障がい者・生活困窮世帯に就労支援
- 高齢者が歩いて行ける地域で体操やサロン活動
- 住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けられるよう、医療・介護・予防・生活支援・住まいの一体的なしくみづくり
- 市民の健康づくりのとりくみをさらに充実！！



天田いづみのプロフィール



- ◆ 自由学園最高学部卒業
自由学園幼児生活団勤務
- ◆ 団地・学校・公園・公共施設等で農薬を使わない活動
- ◆ 農薬空中散布中止・低農薬有機肥料の米づくりを支援
- ◆ 県「さいたま地球環境賞」受賞
- ◆ 志木市廃棄物減量化資源化等推進審議会委員
- ◆ 21しき市民会議委員 第5期
- ◆ 第三次志木市総合振興計画審議会副会長
- ◆ 県「彩の国地方分権大学」に志木市から参加

- ◆ エコシティ志木「市民がつくる志木市の環境プラン」づくりに参加
- ◆ 志木市環境基本計画(第1期)策定の環境市民会議委員
- ◆ 市議会議員 5期
総務常任委員会委員長
志木地区衛生組合議員
政治倫理条例制定特別委員会委員
市民福祉常任委員会委員長
- ◆ 現在
朝霞地区一部事務組合議員
市民福祉常任委員会委員

■「志木市デマンド交通」4月から本格実施

既存のタクシー車両を利用する志木市デマンド交通については、自己負担300円で持続可能になるのか心配する声が多く寄せられていました。

4月から距離に応じた料金体系に見直すとともに、新座志木中央総合病院と敬愛病院も共通乗降場に加えられます。

既に登録されている方については、3月中旬に新しい利用登録証が送付されるということです。

■ 第二福祉センターはお風呂を改修

昨年9月議会では、第二福祉センターのお風呂は老朽化のため、従来から温度調節が難しい状況であり、改修が必要ではないか提言しました。ひとり暮らしの高齢者が増える中、セーフティネットとしても大切です。

2016年度予算では、第二福祉センター浴室等改修工事の設計に係る1300万円が予算化されました。2017年度に改修工事が行なわれる予定です。

■ 館保育園について

1月28日に開かれた保護者や地域住民と市の意見交換会では、「少子高齢化が進む志木ニュータウンに若い世代を呼び込むためにも、恵まれた保育環境を生かし公立保育園として残してほしい。」というご意見が多く寄せられたそうです。

3月議会では、地域の思いをしっかり受け止め、働きたいママたちの保育ニーズも踏まえつつ、早急に方向性を検討するように求めました。

■ かしわ公園、館第3児童公園を整備

都市公園安心・安全化計画に基づき、2016年度はかしわ公園(柏町1丁目)と館第3児童公園(館1丁目)で、園路やトイレのバリアフリー化、健康遊具や災害時に利用できる、かまどベンチの設置などの工事を予定しているということです。

公園については、利用者や住民の意見を反映することにより、大切に使っていかれることを提言してきました。今回も、近隣の町内会の方々の意見を聞きながら改修を進めていくということです。

今後、すみれ児童公園、樋之詰児童公園、館

第1・第2児童公園についても、計画的に取り組んでいくそうです。

■ 柳瀬川土手 5月頃までに整備

前回の議会だよりで年度内に整備予定とお知らせしましたが、埼玉県朝霞県土整備事務所によれば、3月に入札が終了したところなので5月頃までに整備予定ということです。

志木大橋上流の新座との市境から富士見橋までの右岸側を、砕石舗装(細かい砂利を敷いて転圧をかける)するそうです。

■ 人間ドックについて

「TMG宗岡中央病院では2015年度、結果的に国保人間ドックが受けられなかったが、今後は？」とのお問い合わせを頂いています。

市を通しても要望していただき、2016年度は実施する方向で準備を進めているということです。

2月10日にTMG宗岡中央病院を視察した際、訪問看護ステーションの建物で院内保育も行っており、スタッフの確保に努力していました。

■ 志木ニュータウン歩道補修について

前回の議会だよりでは今年度中に補修が行われる予定とお知らせしましたが、2016年度の早い時期に実施予定ということです。お身体が大変でも頑張ってお歩いていらっしゃる方々には、不自由をおかけし申し訳ないです。



認知症徘徊SOS模擬訓練 2015.10.2

**** これまでの活動とその成果は!! ****
天田いつみのホームページでご覧下さい